55.2A-SA10

トリからのメッセージ 80

●ポスター「トリは環境のものさし」
野鳥の種類をかぞえることで、その土地の環境のよしあしがわかるカラーイラストの新作ポスターです。
サイズB全版（ヨコ72.6×タテ103㎝）…500円・〒300円

●愛鳥レターセット
サンコウチョウ、シジュウカラ、アオアシシギ、イスガのカラーイラスト入り便箋16枚と
封筒6枚、カラーイラスト・シール6枚が美しいケースにセットされています。
300円・〒200円（2部600円・〒300円）

●愛鳥便箋
上記4種類の野鳥のカラーイラスト入り便箋24枚つづりです。
（サイズ・タテ25.5×ヨコ18㎝・ヨコケイ線）…200円・〒200円（2部400円・〒200円）

●〈美しい自然シリーズ〉のパンフレット、3冊までそろっています。**①庭に小鳥を**…野鳥を招く楽しさをやさしく解説。
②野鳥を見に…野鳥観察や探鳥会の入門書として最適。**③自然の中で**…自然界のしくみ、鳥との関わりなどをマンガ中心に展開。
各誌1冊送料込み300円です。ご希望の方はいずれも**代金を切手で**、品名明記のうえお申込みください。
宛先・〒103-91 東京都日本橋局区内私書箱231号 サントリー株式会社 愛鳥キャンペーン係

ヒトはトリに何をすべきか….
トリたちの未来を考えて
今月、ふたつの国際会議開催

地球を背負う重い会議

鳥類の調査と保護を目的とする二つの国際機関が会議を開きます。国際水禽調査局（IWRB）代表者会議（18日から札幌）と、国際鳥類保護会議（ICBP）アジア部会（26日からタイ）がそれで、いずれもアジアでの開催という、意義あるものになります。

IWRB代表者会議はことしで26回目、水鳥とその生息地の研究や保護の実情についての報告を通じて、情報や技術の交流が行われますが、今回はアジアで初の会議であることから、とくにアジア地域での水鳥の保護の現状や調査研究の成果が注目されています。また、同時にハクチョウとツルの国際シンポジウムも行われる予定で、世界の鳥学者が深い関心を寄せているところです。

いっぽうICBPは、他の多くの文化的な国際協力機構が生まれる以前の一九二二年、民間の人々の努力によって創立されたもので、日本も創立時から参加し、一九六〇年には東京で会議を開きました。その時の記録を見ると、開発にともなう自然環境の破壊をきびしく告発し、渡り鳥の国際間の保護調査協定の重要性を説き、絶滅のおそれあるものをみだりに捕獲したり輸出入する商取引の禁止を勧告し、青少年教育に自然保護思想の導入を強調する、などなど、いま私たちが当面している問題点をすでに予告し、各国政府へその対応策を要望しているのは、さすが自然の「お目付役」といえるでしょう。

それから20年、今回のICBPアジア部会で予定されている協議事項には「アジア各国の渡り鳥保護条約協定の推進」とか「鳥獣保護区の設定強化」とか、「絶滅の危機にある鳥の飼育下の増殖」とか、「鳥類保護のための教育の振興」などがとりあげられています。私たちはいま、20年前の「東京会議」と同じ内容を討論しなければならないアジア地域の現実、日本の現実を、痛切に受けとめるべきです。単に遅れているとかすすんでいるとかの文明的なモノサシではなく、地球というかけがえのない生命体のなかにあって、ヒト・トリ・自然の共存への道しるべをさぐる真剣な会議として、その結果に注目していただきたいと思います。

●自然の一員としてのヒトの義務――愛鳥キャンペーン

ヒト自身の生存と、生命への愛情をはぐくみ、次の世代へ引き継ぐための大きなテーマ…それが自然保護です。私たちが、この新聞広告や、全国各地のバード・サンクチュアリー（野鳥の森）づくりの運動を通じて展開している『愛鳥キャンペーン』も、自然保護の精神から出発しています。トリの生命を護ることがヒト自身を守ることであり、かけがえのない自然をこれ以上こわさずに護り育てようという社会環境づくりを目ざして、これからも自然保護に関するいろいろな問題に取り組んでまいります。ヒトの心にトリの保護区を…より良い自然環境づくり運動を…皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。

ヒトの心に「トリの保護区」を

財団法人 日本鳥類保護連盟
サントリー株式会社

●この広告は、財団法人日本鳥類保護連盟の指導を得て、サントリー株式会社がシリーズとして制作しています。